

独自の地盤改良工事 開発までの苦心描く



「エコジオ工法
の普及につなが
ってほしい」と
話す尾鍋社長

土木工事業の尾鍋組（本社松阪市飯高町富前321の4、電話0598・460234、尾鍋哲也社長、電話0598・460234）は、同社独自の地盤改良工法「エコジオ工法」の開発経緯などをまとめ、出版した。同工法は、杭（くじ）やセメントなどの人工物を地中に残さない地盤改良技術で、碎いた自然の石（碎石）を用いる。書籍化することで知名度向上を図り、同工法のさらなる普及を目指す。（松阪・川原和起）

「エコジオ工法は、スクリューのついた鉄筒「ケーシング」で地面に穴をあけ、差し込んだ筒に碎石を流し

尾鍋組が書籍出版 知名度向上で普及へ

土木工事業の尾鍋組（本社松阪市飯高町富前321の4、電話0598・460234、尾鍋哲也社長、電話0598・460234）は、同社独自の地盤改良工法「エコジオ工法」の開発経緯などをまとめ、出版した。同工法は、杭（くじ）やセメントなどの人工物を地中に残さない地盤改良技術で、碎いた自然の石（碎石）を用いる。書籍化することで知名度向上を図り、同工法のさらなる普及を目指す。（松阪・川原和起）



2020年(令和2年)

12月15日

火曜日

込む。筒の一部はゴム扉になつておき、どの高さからでも碎石を流し入れるのが特長だ。人工物が地中に残らないため、自然にやさしく、土地の価格も下がりにくいという。施工代理店は全国54カ所にあり、今月中には同工法の採用実績は2万件を超える見込み。

発刊した書籍のタイトル

は「住宅地盤イノベーション」地方の土木会社が挑んだ「17年の軌跡」。開発に取り組んだきっかけや、共同

研究した三重大学大学院の教授をはじめ、開発に携わった多くの企業との出会いなどが描かれている。

尾鍋社長は「ストーリー仕立てになっているが、最も伝えたいのは、地盤工事

が与える環境や土地価格への影響。本をきっかけ、エコジオ工法を知つてもらい、普及につながれば」と意気込む。

発行は合同フレレスト（東京都）。価格は1500円（税別）。県内の書店や大手インターネット通販などで販売している。